



林崎小だより

R4年度 No.5

令和4年9月22日

学校スローガン「自分も人も大切にし、ともに伸びる林崎っ子」

はじける笑顔 全力の演技 歴史に残せその瞬間

9月17日(土)、台風14号の接近で、荒天が心配されましたが、無事に秋季大運動会を開催することができました。子どもたちは「HAYASAKI SPORTS FESTIVAL 2022 はじける笑顔 全力の演技 歴史に残せその瞬間」のスローガンを胸に、笑顔いっぱい、力いっぱいの演技を見せてくれました。6年生のリーダーシップも立派でした。保護者の皆様には、準備や片付け、入場の制限、観覧スペースの譲り合いなど、たくさんのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。



応援合戦からスタート！気合いが入っています！！



光りかがやけ三原色



シン・タマイレ



進撃の親子



紅白対抗選抜リレー



ゆうき100パーセント



ダンシング玉入れ

※裏面につづく

4年生人権学習の紹介

1 「みんな同じ人間なんだよ」久保修さんのお話

8月30日（火）・31日（水）、あいぼーと徳島より人権啓発推進員の久保修さんをお招きし、4年生に講演をしていただきました。

久保さんは、出生直後に脳性まひとなり、両手と言葉に障がいがあります。ご自身のつらかった経験をもとに、いじめのない社会の実現や、命の大切さを熱く話してくれました。

心に残った久保さんの言葉を紹介します。

- かわいそうか、かわいそうでないかは本人が決めること。
私はかわいそうと思われたくない。
- 障がいがあり、不便なことはあるが、不幸だとは思っていない。
- 相手に分かるように伝えることは、人権を尊重することにつながる。
- ちがうところはいっぱいあっても、きれいなものをきれいだと感じる心は同じ。同じ人間だから。

そして、最後に3つのメッセージを伝えてくれました。

- 自分と周りの人のよいところを見つけよう。
- 自分と周りの人を大切に。
- 親からもらった一つしかない命を大切に。

心に響く素晴らしいお話でした。



熱く話してくださる久保さん

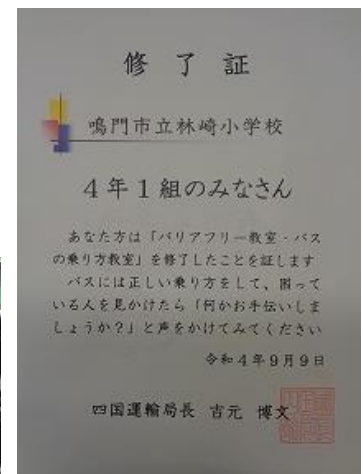


休憩時には子どもたちと談笑



お得意の一発ギャグも交えて

2 バリアフリー教室・バスの乗り方教室



9月9日（金）に国交省四国運輸局の方が中心となり、バリアフリー教室、バスの乗り方教室を開催してくれました。車いす体験・アイマスク体験・バスの安全な乗車の仕方や車いすの方への配慮を学びました。久保さんのお話も思い出しながら、真剣に学ぶ姿が見られました。

久保さんとの出会い、様々な体験学習を通じて、4年生はまた大きく成長しました。

※ 学校ホームページにカラー版の林崎小だよりを掲載しています。